



社長メッセージ  
～2024年 新年のご挨拶～

謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。

まずは、この度の令和6年能登半島地震により被災された皆様、また羽田空港での航空機衝突事故で被害に遭われた方々に心よりお見舞いを申し上げます。懸命な救助作業や復興作業にご尽力されている方々には敬意と感謝の気持ちを表します。一日も早い被害のご回復と事態の鎮静を心より祈念しております。

私たちメディシノバでは昨年一年間で9つの特許承認、2つの治験患者登録完了（アルコール依存症、グリオブラストーマ）、塩素ガス誘因性急性肺障害に関する BARDA（米国生物医学先端研究開発機構）との提携開発プロジェクトの完了、新たなフェーズ3臨床試験の開始（新型コロナ後遺症 Long-COVID）、Sanofi 社からの AAV（アデノ随伴ウイルス）ベクター技術の譲渡契約に基づくマイルストーン受領など、いくつものプロジェクトで大きな進捗がありました。

現在進行中の ALS（筋萎縮性側索硬化症）を対象とするフェーズ2/3臨床試験に関しましては、2024年の上半期に中間解析が行われる予定です。また、塩素ガス誘因性急性肺障害のプロジェクトに関しては、現在、毒性医学の専門家及び薬事規制の専門家との連携チームにより FDA とのミーティングに向けた戦略準備を進めており、2024年上半期中に FDA とのミーティングを持つ予定です。

2024年度は、メディシノバにとって、新薬承認という一つのゴールに向けての道しるべが一層明らかになり、とても大切な一年であると認識しております。メディシノバの会社理念である『十分な治療がまだ確立していない疾病を患う世界中の患者さんに、よりよい治療を提供することにより社会に貢献すること。』を基として、社会とともに成長・発展を遂げていけるよう、全社一丸となって邁進してまいります。

本年が皆様にとって幸多き一年となることを心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

以上

2024年1月吉日

メディシノバ・インク  
代表取締役社長兼 CEO  
岩城 裕一